

THE MINATO TIMES



※<★>のある記事につきましては、みなと総合高校ホームページにて全文が閲覧いただけます。

みなとタイムズ 7号
発行日2016. 04.
横浜国立みなと総合高等学校
045-662-3710
国際担当編集部

● 9月19日(土)～9月23日(水)

『上海国際交流プログラム～日中に虹の架け橋を～』 <★>

※15名の生徒が姉妹校である上海市工商外国語学校を訪問、授業体験やホームステイを行いました。

【生徒の感想】

・中国への偏見がなくなりました。中国には悪い印象ばかり持っていましたが、良い人も沢山いることが分かりました。

・姉妹校生徒の日本語能力に驚きました。でも、話せない子もいて、そういう子と話ができるようにもっともって中国語を勉強したいと思いました。今度、中国に行くときは、一人でもある程度の話ができるようになれば良いと思います。



【保護者の感想】

・多感な時期に国際交流に参加できたことは必ず子供の将来に影響を与えていると思います。

●10月～11月

『千畝ブリッジングプロジェクト』

※早稲田大学のサークルによる杉原千畝の功績に関する勉強会

【生徒の感想】

周りのやり方にとらわれず、自分なりに効率のいい方法を考えてたつた1ヶ月という短い期間で試験に合格した千畝は努力の人でもあるんだな、と思いました。もちろん大変な努力だったとは思いますが、1ヶ月で外交官試験を受けなければならなかった千畝に対して私にはまだ十分な時間があるのでこれからの進路について真剣に考えながら努力を続けていきたいです。

● 11月10日(火)

『米国国務省日本語研修所との交流会』

日本の大使館や領事館へ赴任予定の米国外交官12名とバディ生徒約30名が交流会を持ちました。



●バディー活動報告～3年次生レポートより <★>

私は2年次からバディ活動を始め、何ごとにも積極的になることを目標にしてきました。1年次はバディにははいていませんでしたが、クラスに来た留学生によって外国人と話すことが好きになりました。そこから国際関係について興味を持ちはじめ、2年次ではより多くの留学生と友達になり、今でも連絡をとっている友達もいます。みなと総合のバディに入り、世界のたくさんの国に友達ができ、話をしているうちにそれぞれの文化の違い、また言語が異なり上手くコミュニケーションがとれなくてもその壁をのりこえることのすばらしさを学びました。(中略)グローバル化が進んでいるので、世界の国々について日本との違いについて学ぶことは、とても大切だと思います。異文化を受けとめることはできなくても、学ぶことはできます。私は将来、世界の子供達の国際交流のサポートをしたいと思っています。みなと総合でのバディ活動は、そんな私の夢をあたえてくれました。また言語が違っても勇気をだして話しかける自信、また3年次になり、バディ活動をひっぱっていく責任感を与えてくれました。

● 11月13日(金)～16日(月)

『カナダ姉妹校(ブリタニアセカンダリー)受け入れ交流』 <★>

【1年次保護者(ホストファミリー受け入れ家庭)感想文より】

入学前から国際交流プログラムに興味があったため、迷わずホストファミリーに応募しました。念願が叶って、昨年11月、我が家にカナダから17歳のAriがやってきました。練習してきた日本語で一生懸命に挨拶をしてくれました。

日本の文化を沢山吸収したいという前向きな姿勢がよく伝わり、そんな彼女に私たち家族はすっかり魅了されてしまいました。

(中略)

ホストファミリーを経験して、「言葉の壁は気持ちが伝われば何とかなる」と実感しました。でも「共通の言葉が話せたらもっと分かり合えるはず」とも思いました。このような機会に恵まれ、素晴らしい貴重な経験ができたことにとっても感謝しています。

● 12月16日(水)～12月19日(土)

『りんご交流会』

中国全土から日本語を学んでいる高校生18名が来校し、中国語選抜者を中心にバディを組んで交流を深めました。



●1月13日(水)

『フランクフルト市長来校』

横浜市のパートナーシップ都市であるフランクフルト市から市長以下経済・行政・教育分野のVIPのみなさまが来校。宮崎校長とガンズ校長(シュレー・アム・リート校)が将来的な学校間交流について意見交換をしました。当日の様子はフランクフルト市公式HPでも大きく取り上げられました。



●2月19日(金)～25日(木)

『カナダ国際交流プログラム』 <★>

※生徒20名がバンクーバーの姉妹校を訪問し、授業交流をしました。

【生徒レポートより】

今回のバンクーバー研修で初めて外国に行き、初めて日本語が通じない環境で生活をしました。そんな中、緊張してがらがらに私に本当の家族のように接してくれたホストファミリーや、ブリタニアセカンダリーでの時間をサポートしてくれたバディには感謝の気持ちでいっぱいです。

あつという間の6日間でしたが、研修を終えて一番に出てきた感想は「本当にいろいろな人と関わった気がするなあ」というものでした。(後略)



Thank you for coming! ～留学生紹介

- Carla(オーストラリア) H27年9月～H28年1月
- Elsa(スウェーデン) H27年9月～H28年6月
- Anna-Maria(ベルギー) H27年9月～H28年6月
- Arthur(ドイツ) H27年10月
- Michelle(ドイツ) H27年10月
- Madison(アメリカ) H27年11月
- Shona(アイルランド) H27年11月～H28年1月
- Oscar(オーストラリア) H27年12月～H28年1月
- Gustavo(ブラジル) H27年12月～H28年3月
- Porter(アメリカ) H28年1月
- YiWei(中国) H28年1月～2月

